

キャンドルサービス

1 活動のねらい

燃え上がるろうそくの火を囲み、神秘的な炎を見つめながら活動を振り返ったり、自分の生活を振り返ったりすることで、互いの心を開放しあい友情を深めます。

2 育てたい能力

A4 交友・協調 A7 適応行動 B3 まじめ勤勉

※Aは心理的・社会的能力 Bは徳育的能力 Cは身体的能力 詳細は別紙参照

3 活動場所

・プレイホール ・オリエンテーション室 ・研修室 ・キャンプ場管理棟

4 活動時期

通年



5 所要時間

1.5～2時間

6 指導形態

団体の引率者が指導者となって行う活動

7 準備物

【団体・個人で準備するもの】

- ・マッチ（チャッカマン） ・衣装（火の神、火の精） ・活動に適した服装
- ・ろうそく（食堂売店で購入可） ・出し物に必要なもの（スタンツ）

大1本：130円	}	燃焼時間約9時間、長さ約22cm
中1本：30円		燃焼時間約2時間、長さ約15cm
小1本：20円		燃焼時間約90分、長さ約11cm

【自然の家で貸し出しできるもの】

- ・アンプセット（マイク、テープ使用可） ・電源ドラム ・CDラジカセ ・中央燭台
- ・個人燭台 ・耐火シート 等

8 活動の手順 実施例

第1部：火を迎えるつどい 15分～20分

① 入場・整列

- ・全員ろうそくを持って入場します。
- ・燭台を囲み、起立して静かに待ちます。
- ・聖火係は大きいろうそくを持って出発点で待ちます。（事前に中央燭台に何本かセットしておくのもよいです。）

② 開会	<ul style="list-style-type: none"> 司会者が開会の言葉を言います。
③ 火を迎える歌・聖火入場	<ul style="list-style-type: none"> 「遠き山に日は落ちて」を全員で歌いながら火を迎えます。 (1番は歌詞で、2番からはハミングで、ハミングになったら聖火入場。聖火係は聖火を営火長にわたし、営火長の隣に位置します。)
④ 営火長の言葉	<ul style="list-style-type: none"> 火に関する話や活動の振り返った話を取り入れます。
⑤ 点火	<ul style="list-style-type: none"> 点火係は営火長の前に整列します。 営火長は「友情の火」「健康の火」等の言葉とともに火を授けます。 点火係は、営火長の言葉を受けて一人ずつ誓いの言葉を言います。 点火係は自分の位置に戻って班員に火を分けていきます。 そこから順番に隣へと火を分けていきます。
⑥ 集火	<ul style="list-style-type: none"> 中央燭台へ順番にろうそくを集めます。(大人数の場合には代表者)
⑦ 歌	<ul style="list-style-type: none"> 「一日の終わり」等を歌います。



第2部：親睦のつどい 45分～55分

それぞれ練習・用意してきた出し物(スタンツ)を披露します。
全員でできるダンスやゲーム、歌等も入れます。
※明るく楽しい雰囲気になるようにしましょう。
制限時間を決めてだらだらとならないように配慮しましょう。



第3部：火を送るつどい 10分～15分

① 歌	<ul style="list-style-type: none"> 「今日の日はさようなら」「一日の終わり」等静かな歌を歌います。 あらかじめ全員のろうそくに火をつけておきます。
② 営火長の言葉	<ul style="list-style-type: none"> まとめとなる話をします。
③ 感想発表	<ul style="list-style-type: none"> 発表者は営火長の前に出て感想や反省、抱負等を話します。
④ 火を送る歌	<ul style="list-style-type: none"> 終わりの歌にふさわしいものを歌う。 (「今日の日はさようなら」等) 歌の2番からハミング、そこから各自のろうそくの火を消してもよいです。 営火長の隣から一人ずつ全員と握手して退場してもよいです。会場を出てから火を消します。
⑤ 聖火退場	<ul style="list-style-type: none"> 司会者が閉会の言葉を言います。 諸連絡をし、後始末に入ります。 <p>後片づけ</p> <ul style="list-style-type: none"> 燭台を元の場所に返却します。 シートを元の場所に返却します。 終了後、必ず事務室にご報告ください。

9 留意点

- キャンドルサービスには、定形がありません。プログラムの流れをふまえて、ねらいに沿った活動を考えてください。
- 火気が残っている場合は、その場を離れないでください。